



邑楽消防署と邑楽消防団による密集地建物火災消火訓練。消防車両14台を駆使した消火訓練が行われました。消火栓に部署した消防車両から各分団の消防車両へと中継送水が行われ、消防署員と消防団員が連携して放水訓練を行いました



→防災ヘリ「はるな」による救出救助訓練



↑水災防ぎょ訓練（写真は月の輪工法訓練）。邑楽消防団は水災害発生時、水防団としても活躍します

↓煙洞（えんどう）脱出訓練。町民の皆さんにも参加してもらい、実際に煙の中から脱出する模擬訓練も行いました



↑梯子（はしご）車による高層建物救出救助訓練



長柄小学校少年消防クラブの子どもたちによる初期消火訓練

訓練参加協力機関	参加人員
邑楽消防団	121
館林・邑楽消防署 救助隊	4
邑楽消防署	25
邑楽町婦人消防隊	107
危険物安全協会邑楽地区	6
群馬県LPガス協会邑楽支部	6
防火対象物連絡協議会邑楽地区	3
邑楽町交通指導隊	20
邑楽町区長会	144
療育父母の会	5
長柄小学校少年消防クラブ	51
群馬県防災航空隊	10
民生委員・児童委員	40
邑楽町役場	90



←非常用給水袋。飲料水が6リットル入るこの袋は、背負うこともできます



民生委員・児童委員の皆さんによる炊き出し訓練も行われました。この日は600食分を準備しました

Close up クローズアップ 防災訓練

今できること …そして防災へ

9月1日、焼けつくような日差しの中に行われた邑楽町防災訓練。青少年広場には参加協力機関14団体、600人を超える訓練参加者が集まり、大型台風や大規模地震を想定した防災訓練が行われました。



邑楽町婦人消防隊による初期消火訓練

防災訓練は2年に一度、開催しています。今年も大型台風や大規模地震を想定して行われました。金子正一町長は訓練冒頭の挨拶の中で、「いつなんどき発生するか分からない災害に備え、関係機関の皆さんと相互の協力関係をより強固なものとし、さらに、この訓練を通して防災に対する理解と防災意識の高揚につながることを願います」と述べています。

訓練は、10項目にわたりました。

- ① 広報訓練
- ② 避難訓練
- ③ 災害情報伝達訓練
- ④ 高層建物救出救助訓練
- ⑤ 救急訓練
- ⑥ 初期消火訓練及び煙洞脱出訓練
- ⑦ 水災防ぎょ活動訓練
- ⑧ 危険物火災及びプロパンガス火災消火訓練
- ⑨ 工場火災消火訓練
- ⑩ 密集地建物火災消火訓練

日頃の備えや災害に対する認識を高める必要性は、東日本大震災の教訓から、誰もが分かっていることです。しかし、実際に災害に備えて行動している人は、いったいどれくらいいるのでしょうか。家族と話し合って、避難場所を決めておくだけでも、安否確認には有効です。一人ひとりの心掛けしだいで減災につながるものもあるのです。



携帯電話からでも簡単登録

メールアドレス・名前(任意)を入力して「入会を申し込む」ボタンを押せば、登録手続完了。

▼問合せ 役場企画課

☎47-50008

※町ホームページのトップページ右側「おつらお知らせメール申し込み」のメニューから登録。

※町ホームページのトップページ右側「おつらお知らせメール」のメニューから登録。

「パソコンから登録」

町ホームページにアクセスして登録する。

※トップページ「おつらお知らせメール」登録ページのメニューから登録する。

URL <http://www.town.oragunma.jp/>

※トップページ「おつらお知らせメール」登録ページのメニューから登録する。

▼利用料金 無料

※通信費はかかります。

▼登録方法

【携帯電話から登録】

町の携帯用ホームページにアクセスして登録する。

▼URL <http://www.town.oragunma.jp/>

※トップページ「おつらお知らせメール」は、町や近隣市町のイベント情報や、緊急情報、防災情報、不審者情報などをあらかじめ登録した携帯電話や、パソコンに配信します。

●災害時の情報は大切です

「お知らせメール」は、町や近隣市町のイベント情報や、緊急情報、防災情報、不審者情報などをあらかじめ登録した携帯電話や、パソコンに配信します。